

三次

三良坂

吉舎

宇賀

甲奴

世羅

上下

4

三次

世羅

銀の道

CYCLING MAP

銀山を支えた白炭の里と、 白壁の映える金融の街へ。

①一字一石塔
南無妙法蓮華經の名号石と共に、一字ずつ刻まれた石があった。水難にあった人々の供養のため置かれたという説が残っている。

②奥家住宅
家には1788(天明8)年の普請帖が残され、この地方の18世紀後期を代表する民家として国の重要無形文化財に指定されている。

③下素麺屋の一里塚跡
1633年頃幕府は主な街道約4km毎に、塚を作り松を植えた。一里松は平成4年松食い虫のため枯れ、今は切り株が残っている。

④福六酒造の酒蔵
吉舎の馬洗川に架る巴橋の南側に、1904(明治40)年創業の福六酒造の白壁が美しい酒蔵。残念ながら現在は使われていない。

⑤吉舎歴史民俗資料館
三玉大塚古墳からの出土遺物や、備後国の有力国人「和智氏」関係資料の展示のほか、この地方の農家を復元したコーナーなどがある。

⑥歴史的街並み
吉舎は街道の宿場として栄えたが、その面影を残す街並みが吉舎町市街の各所に残っている。

⑦宇賀の辻堂
地元では、郷地蔵(ごうじぞう)さんと呼ばれている。銀の道はこの先で「笠岡ルート」と「尾道ルート」に別れる。

凡例

銀の道(サイクリング)※	主な施設
P 駐車場・駐車可能場所	トイレ(車いす可)
トイレ	レストラン・食堂

※銀の道に最も近いと思われる車道をサイクリングコースに設定していますので、本来の銀の道とは異なる場合があります。

「銀の道」の大部分は、地域の皆さんの生活道路です。交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。

⑧頼藤の道標
広島から越えたと頼藤に出る。街道の交差点に三角柱の道標が残されている。三角柱の形を残したものは非常に珍しい。

⑨八王子神社の常夜灯
この常夜灯には天照皇大神、厳島大明神などの刻字が見え、塔身そのものがご神体を兼ねている。

⑩上下大師堂
旧街道に面しており、町の入り口となる場所に大師堂が建立されている。今でも、地域の人々の信仰が厚く、供え物が絶えない。

⑪旧角倉家の横門
この門はもともと代官所の門であったが、角倉家が払い下げを受けたもの。すぐ近くの外門も見応えがある。

⑫旧郷宿跡
かつて役所の仕事を代行する「郷宿」と呼ばれる公事所があった。その名残を示す虫籠窓(むしこまど)やうだつが残されている。

⑬天領代官所跡
幕府の天領であった上下には、代官所が置かれていた。現在は役場支所となっているが、石垣は当時のまま残っている。



ワニ食べる or 食べない?

三次市を走っていると、時折、「ワニあります!」などと書かれた看板を目にする。ワニ、とはサメのこと。冷凍技術が未発達だった頃、山間部である備北地域では魚を口にする機会が少なかったが、サメは保存がきくことから重宝されたという。お店の方によると、「秋祭りやお正月には必ずと言っていいくらい食べるし、普段の食卓にも並ぶ郷土料理」だそうだが、「三次や甲奴は食べるけど、上下ではあまり食べない」などの地域差もあるようで、なかなか興味深い。



世羅町 府中市